

守る会岡山 42号
2020.2.1 発行

森永ひ素ミルク中毒の被害者を
守る会岡山

岡山県本部事務局
〒700-0984 岡山市北区桑田町 18-28
明治安田生命岡山桑田町ビル4階
086-232-3855



あけましておめでとうございます。
今年も守る会岡山をよろしく！



昨年の活動を振り返って

岡山県本部 森脇 良明

皆さん明けましておめでとうございます。

昨年は、守る会や協会の行事で元朝日新聞記者の新妻義輔さん、地域救済対策委員の齋藤 紀先生、元大阪市保健師の松尾禮子さんから貴重な講演をお聞きすることができました。

お話を聞いて感じたことは、恒久救済はわれわれ被害者が19歳・20歳になってやっと始まった事です。そして、その間には親御さんの長い苦悩の日々がありました。また、その過程には、何としても子供を救い守ろうと運動を継続した親御さんの強い愛情と、大阪大学の丸山教授をはじめとした専門家の先生方の、先を見通した熱意とやさしさに基づく協力がありました。

わたしは、現在のこのすばらしい恒久救済ができた過程を守る会員みんなと理解し合って、みんなと守っていきたくと思います。

さて、今年から、第三次10カ年計画(案)と40歳以降のあり方(改正案)の検討が始まります。その内容について、岡山県本部の役員どうし勉強し合いたいせつな部分は会員のみなさんに

はか
語りたくと思いますので、是非貴重なご意見をお聞かせください。

なお、今年は岡山で全国総会が開催される年なので例年以上に全国総会に携わる人が必要になります。皆さんご協力をお願いします。

また、今年は事件から65年目の年です。私たちも65歳～66歳になりお互いの健康を守り合う活動がますます重要になります。皆さん、健康には十分気を付け、今年も守る会活動に、ご支援・ご協力ください。よろしくをお願いします。

東中国ブロック協力員交流会に参加して

備前支部 山本 節子

10月26日(土)JR岡山駅近くの岡山国際交流センターで行われた東中国ブロック協力員交流会に初めて参加しました。東中国とは、島根、鳥取、岡山の3県です。山陰の情報はあまり入ってこないのが楽しみでした。

交流会前半は会報ふれあいに連載されている広島地域救済対策委員の齋藤紀先生の「ひ素ミルク被害者運動の歴史的到達と課題」とい



う講演を聴きました。これまでも何度か歴史について学びましたが書きことばではなく話しことばでの先生のお話が一番わかりやすかったです。

後半は4つの班にわかれて「第二次十ヶ年計画総括」の説明を聞いた後グループでの交流でした。私の班には他県の協力員さんはいなくて比較のお目にかかれる方ばかりでした。いつものよびかけの方法等が話題になって色々苦労しながらもがんばっている様子がわかりました。今後の課題等を出してグループごとに発表して終了しました。

今回の交流会はブロックとして、7年ぶりだそうです。山陰から4人参加の予定が体調不良のため2人欠席、島根から2人こられただけでした。でもどの方が島根の方かわからず会は終了してしまいました。

偶然同じ班になれば自己紹介もあるので知り合う事ができますが全体としてみたら同じ県内の方でも知らないままで終わっています。交流会と銘を打つならせめて顔と名前とお住いの地域くらい全員の間で交流したかったです。そうすれば興味のある方同士で会話がつながるのではと思います。65歳の私たちの残り時間はどんどん少なくなっています。

今のうちに色々な人と交流して楽しい思い出をたくさん作りたいと思います。

2年振りのそうじゃ吉備路ウォーキングに参加して

備前支部 深井貞光

令和元年11月3日(日)どんよりとした曇り空でちょっと肌寒いお天気の中、2年振りの開催となった「そうじゃ吉備路ウォーキング大会」に参加しました。今回も史跡めぐりコースの11kmを中倉さんと一緒に歩きました。

途中、国分寺あたりの無人野菜果物売り場で中倉さんが柿をわたしはピーマンを買いました。

皆それぞれのペースに合わせて、松浦さんとそのお友達は6kmコースを歩かれたようです。

スタート・ゴール地点では女性陣の真田さんや春木さんから「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」の声かけをして頂きました。

この大会に参加したのは5回目となりますが、去年は西日本集中豪雨の為中止になり非常に残念でした。「2年振りに歩いたら腰が痛くなるかなあ?」と思っていたら大丈夫でしたけど、最後2~3kmのあたりで足の先が痛くなり水ぶくれになっていました。中倉さんの万歩計で確認して貰ったら1万5千歩ぐらい歩いていると言われました。

ゴールの所で完歩証を貰った後、少し雨が降ってきた中で暖かい豚汁と中倉さんが作って来てくれたお弁当を頂きました。

来年も多数の方に参加を呼びかけようと言って解散しました。



第5回楽生関節クラブ開催

備前支部 入江 弘

11月9日赤堀先生をお迎えしてリズムに乗って身体を動かそうをテーマに、くらしき健康福祉プラザの和室で開催しました。



仲間 20 名が参加して健康体操などで汗を流しました。最初は先生の動きに合わせて準備運動をして身体をほぐしてゆきました。次に懐メロ・民謡・クラシックなどの曲に合わせて身体全身を使って右に、左に、手足を動かしながら 1 2 3 4 とかけ声をかけました。だんだんと身体が温まり身も心もポッカポカになり、全身が少し軽くなったように感じました。音楽に合わせて健康体操することは手拍

子だけであるよりも身体が動かしやすいように思いました。少し休憩を取って指回し運動や手足のゲー・チョキ・パー・ストレッチなどをしながら日々の生活の中で無理のないように運動を続ける方法などについて色々とアドバイスをしていただき、次回の開催を楽しみに関節クラブは終了しました。

これからだんだんと寒くなってきます、皆さんも体操をして身体をほぐして見てはいかでしょうか。

岡山交流会に参加して

備前支部 中村 明美

11月16日(土)岡山国際交流センターで交流会がありました。午前中はリクリエーション。高見博子先生の指導のもと、若返り体操で体も頭もほぐされました。先生は広い会場でもマイクを全く使わず、ハッキリとした大きな声で分かりやすく説明して下さり、パワーもいっぱいいただきました。先生は「全て人間は食べる事から始まってゆく。食べるという字は人に良い物と書き食事は命を守る物でゆっくり食べてください」と言われ、私は早速実践しています。



昼食を挟んで午後からは松尾禮子先生のお話でした。事件当時の生の声、実体験を聞かせて頂きました。大塚睦子先生と共に保健師時代に仕事を超えて、土・日・休日を返上して夜間(時間外)に手弁当で被害者訪問をされたそうです。それをまとめ「14年目の訪問」として小冊子を発表された事や丸山先生、中坊先生他いろいろな

方々のお陰で現在の救済活動に至っている事など、改めて私達は忘れてはいけないと思いました。私たち被害者たちが平穏な日々を送れているのは、当たり前的事ではなくて様々な人達に助けられているからこそで、これからも感謝の念を持ち続けたいと思っています。



クリスマス会に参加して

12月1日(日)くらしき健康福祉プラザ

備前支部 春木 範子



今年のクリスマス会は会員の方の紹介で倉敷市在住の大本 都先生を講師にお迎えして「スワッグ・プリザードフラワーリース」と言うクリスマス飾りを作りました。今まで聞いたことのないような材料と、飾りを先生が人数分に分けて準備してくださっていたので、説明を受けながらのリース作りが始まりました。センスの良い方はさっさと手際よくリースを作っていました。手先の不器用な私は全然上手くまとめる事が出来なくて、先生の手が空くのを待ってアドバイスしてもらい、どうにかまとめる事が出来ました。地味ながら完成した作品を玄関に飾ることが出来て嬉しかったです。

備前支部 徳田 保子

クリスマス会に初めて参加させて頂きました。交流会の時一緒に行きませんかと役員さんから声かけをしてもらい、緊張もほぐれスワッグ作りを楽しんできました。

スワッグは枝の扱いが中々難しく「この枝、こっちに向かないかしら」「飾り付けの止め方が難しいね」と苦労しましたが、先生のアドバイスや、周りの方達と話をしながら素晴らしい作品ができました。

備前支部協力員会議に参加して

2019年12月14日岡山シティホテル桑田町

備前支部 三宅 正明

私自身、ひ素ミルクの被害者であることの実感は少ないですが、協力員として助け合う事は意義があると思います。また私も含め、(何等)の体調が悪くなる人も、これから増えるでしょうから、話し合える人が居るとするのは良い事だと思います。

備前支部 佐藤 央

年に二回の協力員会議ですが、なかなか参加できません。しかし今年はすべてに参加できました。細々ながらになりますが、活動は続けてゆきたいので宜しくお願いします。

令和2年度の守る会活動予定

☆自主的グループ活動

美作料理教室・・・2月22日(土)津山市高倉公民館

倉敷料理教室・・・4月21日(火)6月9日(火)くらしき健康福祉プラザ

楽生関節クラブ・3月28日(土)13:00~15:00くらしき健康福祉プラザ

学習会・・・守る会運動の歴史から、運動の原点を学ぶ

4月19日(日)6月21日(日)10:00~12:00岡山国際交流センター

☆県本部活動

リフレッシュ会・・・3月14日(土)15日(日)総社サントピア

機関紙「守る会岡山」に記事投稿、エッセイ、活動報告、制作作品など
どしどしお寄せください。お待ちしております。